

令和4年度 第2回学校評議員会 記録

期日：令和5年1月19日（木）

時間：9:30～10:45

1 開会 9:30

(1) 校長挨拶

本日はお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。本日は限られた時間ではありますが、今年度の学校経営についての振り返りや、各学部の学習の様子などを中心にご説明させていただきます。後ほど、お立場やご経験を基にそれぞれご意見を頂戴いたしまして、令和5年度に向けた学校づくりに生かして参りたいと思います。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

(2) 日程説明

2 報告

(1) 令和4年度学校経営の総括について（校長）

令和4年度の学校経営について報告いたします。

今年度は、6つの重点目標を掲げ取り組んで参りました。それぞれの重点目標に対する具体的な取り組みについてスライドを用いながら説明させていただきます。

① 安全の保証について

災害時の学習環境の保証につきましては、2年前におきた土砂災害により、学校を休校措置とした教訓から、近隣の県立学校と連携した空き教室の間借り授業の体制を整え、災害時の学習環境を整備しております。

次に、具体的想定による避難訓練につきましては、今年度はわかたけ学園との連携による合同避難訓練を実施しております。山火事の具体的想定を行い、学校から距離的に最も遠い第3避難場所の宮古カントリークラブへの避難訓練を行いました。避難する際の課題も様々見付きり有意義な訓練となりました。

次に、新型コロナウイルス感染症対策につきましては、感染症対策委員会を月に1回開催しているとともに、県内の感染状況に応じて随時開催もしており、学校行事や学習活動の実施可否の判断をしております。また、校内における衛生対策は、校内消毒体制の整備や衛生に関する機材の購入、さらには、抗原検査キットを職員分購入し、冬休み明け全職員が検査をして出勤前に体調管理をしてもらうなどの取り組みを行いながら学校全体の衛生向上に務めています。

② いじめ防止対策の推進について

児童生徒を対象に学校生活アンケートを例年実施しています。いじめに特化した実態把握をするものではなく、学校生活全般についての実態把握に努めております。また、そのアンケートを基に教職員間の情報共有を密にし、日々の生徒指導に取り組んでおります。アンケートの結果につきましては、概ね学校生活に満足しているとの結果となっており、児童生徒は学習環境に適応しながら学校生活を送っていると捉えております。そして、アンケートを基にいろいろな側面も見えてきたところです。

次にスクールカウンセラーの面談につきましては、高等部を中心に年7回行っております。当初は生徒側に緊張感も見られましたが、面談を重ねるごとに相談ができるようになってきており、高校生の多感な時期の自己理解を高めるきっかけにもなっております。次年度も継続していきたいと考えております。

③ 学びの保証について

授業力向上に向けた研鑽ということで、我々教職員側の取り組みとなります。

岩手県では授業づくりの3つの視点「学習の見直し」「学習課題を解決するための学習活動」「学習の振り返り」に取り組んでおります。本校における授業づくりと授業改善につきましては、「校内研修会」や「大学から講師を招聘し研修会を行う」など様々な研修を行いながら、日々の授業力の向上、研鑽を深めてきました。

それから、国において新学習指導要領の改定がありましたが、その実施ということで、本校では学習内容の見直しと検討を継続して進めているところです。一年間を通してどのような授業をするか、個別の指導計画を立てて進めております。

また、地域を題材にした学習活動に重点をおきながら取り組んでおります。所属する学部や学年によって段階的に体験しながら生活経験の向上を図るといった意識を高める事に取り組んでおります。例えば、小学部段階ではフードサービスの利用や宮古市内にある施設の利用などを行い、中学部段階では地域を知ingことを目的に、鮭の稚魚の放流学習、公共交通機関の三陸鉄道を利用した校外学習であるとか、マリンコープDORAで作業製品を販売するという体験活動などを実施しております。高等部段階ではさらにこれまでの経験を学習で深めることに取り組んでおり、浄土ヶ浜周辺のさんりくジオパークについて調べたり、本校の

代名詞の一つでもあります新巻鮭づくりという、地域の食文化を知る事を目的に取り組んでおります。将来の社会活動、社会自立に役立てることを小、中、高と段階的に取り組んでいるところです。

また、I C T機器を活用した学習もここ数年重要視されてきており、本校にも機器が大量に導入されております。情報化社会というのは学校だけではなく生活全般にわたっています。財布を持っていなくても、スマホだけで物が購入できたり、公共交通機関に乗れたりするということがありますので、まずはそういった機器に慣れる事や、機器を活用して学習を進めるということに取り組んでおります。アプリケーションソフトを使った学習、調べ学習、観察学習などにも活用しております。高等部では動画編集も授業の一環に取り入れており、好きな素材や動画などを自分で編集してみるなど、関心を持たせるような授業を行っております。そして、我々教員側も、教材で活用しているソフトの紹介であるとか、授業展開の例を発表するなどの研修を行っております。

④ 進路の保証について

校内実習、現場実習の実施を行っております。中学部、高等部が中心となりますが、働く意欲や態度の向上、将来の進路意識を高めるということを目的に行っております。中学部は働く意欲、態度の向上を目指す段階と捉えており、高等部では自分の将来を具体的に考えて取り組んでもらう段階と捉えております。生徒個々は幅広い実態がありますので、その実態に併せながら実習を行っております。

中学部は2週間、校内での実習を行い、高等部は一般就労、福祉就労など校外での実習を3週間行っております。スーパーの商品陳列や食品加工、自動車整備や福祉的就労などを行っております。主な実習先は、一般就労は「㈱マルイ舗装」「特定非営利活動法人イーハトーブとりもと」「㈱中村電子」「㈱エフビー」「D C M宮古南店」「マリンコープD O R A」「ベルフ西町」「株式会社ホンダカーズ岩手中央 U-Select 宮古」「有限会社オートセンター梅沢」、福祉部門の事業所は「多機能事業所 S E L Pわかたけ」「ワークハウス アトリエ S u n」「(一社)フロムいわてソリューション ジョブシーズみやこ」「(福)翔友 みやこワークステーション」「(福)自立更生会 アビリティセンター」などで実習をしております。

また、関係機関との連携・情報共有の強化にも取り組みました。企業との連携

協議会、技能認定会、農福連携の取り組みを継続して行っております。

さらに、関係者の進路意識の向上を図る目的として、職員の進路研修、保護者の方々の進路学習会の実施なども継続して行っております。学校全体として将来の社会自立について考える機会の提供や研修の場を設定して取り組んでおります。教職員の職業体験というのは県内でも宮古恵風支援学校が先立って行っており、様々な現場での実習や企業での研修などを行っています。生徒だけではなく保護者や我々教職員が、子ども達がどのような環境の中で将来、生きていくのかを肌で感じながら子ども達と一緒に進路を考えていくと言うことを大事にして行っております。

⑤ 地域に開かれた学校づくりについて

「地域に開かれた学校」というのは昨今の重要なキーワードとなっております。その中でも、圏域における特別支援教育のセンター的機能を本校は担っておりますので、その充実に向け、エリアコーディネーターが宮古教育事務所管内に配置され特別支援教育の充実を進めており、そのコーディネーターに本校職員が委嘱されております。授業ノウハウの提供や発達検査の実施、就学相談などしており、宮古市以外にも山田町、岩泉町広域圏に関わっています。

また、交流教育の実施というものがあります。交流教育につきましては、小中学部を中心とした居住地校交流学习、小、中、高の学校交流に取り組んでおります。今年度の居住地校交流学习につきましては、小中学部合わせて14名の児童生徒が参加しており、宮古地区は「千徳小」「磯鶏小」「津軽石小」「花輪小」「高浜小」「田老第一小」「重茂小」の学習に小学部児童8名が参加、中学部は4名の生徒が希望して、「宮古一中」「崎山中」「津軽石中」の学習に参加、山田地区は、小学部1名の児童が「船越小」、中学部1名の生徒が「山田中」と居住地校交流学习を実施いたしました。学校間交流につきましては、「崎山小」「崎山中」「宮古水産高」と、それぞれの学部が交流を行いました。宮古水産高校では新巻鮭づくりの実習交流を行っており、生徒達との交流を行いながら地域の食文化について共に学び、そして、宮古水産高の生徒達が学んでいることを教えてもらうような交流を行っております。

地域貢献活動の実施は、地域に開かれた学校ということで、地域の環境整備や清掃活動を中心に行っております。特に高等部を中心に、宮古駅前や宮古カントリークラブ、千徳公民館の花壇整備や清掃活動をこれまでも継続して行ってお

り、地域の方々に生徒達の姿を見てもらうことができる大変良いきっかけづくりにもなっております。

⑥ 業務改善の推進について

最後になりますが、我々教職員の業務改善にも取り組みました。働き方改革、業務改善とよく言われておりますが、教員現場の多忙化というのは、上手く改善が進んでいるところ、一方で改善が進んでいないところもあり、なかなか難しいところではありますが、先ずはできる範囲から取り組みを始めることとし、昨年度中頃より全職員が集まって実施していた職員会議を、オンライン形式にしました。最初は少し戸惑うところもありましたが、今では先生方は職員室机上で画像や資料を見ながら実施する形式が定着しております。

それから毎週月曜日はいつもより 30 分早く退庁する、宮古恵風のM、マンデーのMで通称「M30（エムサーティーン）」と言うキーワードを設けて、いつもより 30 分早く退庁する取り組みや、長期休業中の定時退庁を心がけるなど、可能な範囲で取り組みました。その結果、教職員の業務の質を向上させようという意識は高くなっているように感じております。ちなみに、今年4月から11月までの時間外勤務は、令和3年度比で3302時間の縮減となりました。1人当たりになると平均9時間45分の縮減となっております。M30運動は、平均の退庁時間が、令和3年度比で16分早くなっており、月曜日の平均退庁時間は午後5時41分となっております。令和3年度は午後5時57分でしたので少しずつではありますが退庁時間が早くなっています。いつも早く帰ろうというわけではなく、メリハリをつけようということで取り組んでおります。学校経営に係る説明は以上です。

配付した資料には記載しておりませんが、学校運営協議会が県内各学校で進められているところです。特に小学校、中学校、高等学校の方は、地域に根差した学校ということで取り組まれております。「コミュニティ・スクール」とも呼ばれているものです。本校では現在、学校評議員会の体制で進めておりますが、県内の特別支援学校でも、学校運営協議会の設置を進めていく方向となっております。現在、検討段階であり、今後、設置に向けた準備を進めていきたいと考えております。詳細につきましては今回報告できませんが、令和5年度内におおよその組織作りを進め、令和6年度に設置する方向で考えております。

なお、支援学校の地域となりますと、小中学校とは違い、かなり広域となりますので、そこの部分を考慮するとともに、組織体制は学校評議員会の形を基に整理できればと考えております。今後、設置に向けた動き等について皆様にご説明する機会があると思っておりますので、ご理解とご協力をいただければと思います。設置に向け校内でしっかりと議論をして職員の共通理解を経て、そして学校評議員の皆様にご提案したいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

私からは以上です。

〔司会〕

ただ今報告のありました学校経営の総括につきまして、ご質問ご意見等ございましたらお願いいたします。

〔Q（C評議員）〕

オンラインの職員会議は、どのような形で行っているのか。

〔A（校長）〕

職員は職員室でネットワークがつながっている自分のパソコンでソフトを立ち上げて実施しております。

〔Q（C評議員）〕

欠席者にはどう伝えるのか。

〔A（校長）〕

欠席者には職員会議の会議録を回覧することにより、共通認識を図っております。そこはアナログとなっております。

(2) 令和4年度各学部経営の総括及び進路希望状況について

① 【小学部】（小学部主事）

学部目標はこの3点です。

学習の様子をお伝えいたします。

まず、七夕会は1～6年生までの児童が全員参加して行っています。事前学習の装飾づくりでは、自分の得意な活動を活かして行いました。ローラーで色を塗ったり、文字を貼り付けたりしています。高学団は、七夕の物語の発表練習を行っています。6年生は次第に沿って、番号札を貼っていくという方法で次第係を務めました。今年度は授業参観日と七夕会を合わせて行いましたので、前半は保護者の皆様と一緒に願い事を短冊に書く活動に取り組みました。その後、プレイ

ルームで七夕会を行いました。歌に合わせて天の川を持ちながら、低学年の児童が歩きました。代表者は願い事を発表しました。願い事は後ろの笹を模した壁面装飾に貼りました。訪問教育の児童も自宅で事前に撮影したタブレットの動画で司会の言葉を担当しました。

崎山小学校との学校間交流では、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もなく2回実施できました。1回目は6月にミニ運動会を本校体育館で行い、本校の児童の実態に合わせて参加できるように、座ったままの玉入れや、棒を持って崎山小学校の友達と2人でリレーをする、台風の目のような競技に取り組みました。2回目は崎山小学校に訪問し、崎山小学校の児童の手作りおもちゃで一緒に遊びました。おもちゃ遊びを通して交流することができました。

6年生は、実態に合わせて訪問学級の修学旅行と6年1組の校外学習を合わせた形で実施しました。千徳公民館に講師をお招きしアロマキャンドル作りをしました。アロマキャンドルを教材に選んだのは、嗅覚を生かした活動ができることからです。

6年1組の児童2名は久慈方面まで往復三陸鉄道に乗車し、もぐらんびあ水族館や琥珀博物館、久慈市情報交流センター等を見学しました。宿泊先はグリーンヒル大野で、多様な経験ができました。

1・2年生はマリンコープDORAでの校外学習を経験しました。

4・5年生は宿泊学習で山田町の鯨と海の科学館の見学、宿泊は休暇村宮古、2日目はうみねこ丸の見学等を行いました。

交流籍を活用した交流及び共同学習は、参加を希望する児童が実施しました。年に1～3回程度、居住地の小学校を訪問し、同年代の児童と一緒に学習しております。16名中、9名が実施しており、有意義な交流となっております。プールの学習を一緒に取り組んだり、修学旅行に関わる地理のまとめ学習や創作活動、体育などの授業を一緒に行いました。

② 【中学部】（中学部主事）

「明るく、元気に過ごす」「自分のことは自分でやる」「みんなで協力して取り組む」を目標に取り組んでおります。

授業の様子です。毎朝、朝の会が終わった後にランニングをしています。グラウンドや体育館で体力の向上を目標に取り組んでいます。

作業学習は、週に6時間、2つの班に分かれて行っています。紙づくり班では、

牛乳パックのラミネートを剥がして準備段階の仕事をしています。その後、紙を漉いたり、液を作ったりと係分担で自分の役割を行っています。「油吸い取るぞう」も制作しています。計量して袋に入れていきます。運搬班は、製品班と紙作り班の製品を運搬しています。製品班は、漉いた紙を使ってメモ帳を作ったり、カレンダーを作ったりしています。また、無人販売の毎日の売り上げチェックも行っています。

自立活動が教育課程にある重複学級の生徒の学習では、ブランコに乗ったり、一緒に散歩を行いながら心理的な安定や健康の保持などを目標に活動しております。

中学部授業参観では、今年度は「歯磨き指導」を行いました。作業製品販売会は年1回マリノープ DORAのスペースをお借りして実施しております。

崎山中学校交流では、崎山中学校の1・2年生が本校に来校し実施しました。1年生はボッチャ大会、2年生はモルック大会、3年生は崎山中学校に訪問して、風船バレーボールや手形の壁画づくりに取り組み、有意義な交流となりました。

交流籍を活用した交流及び共同学習では、今年度は崎山中学校、山田中学校、津軽石中学校と実施しており、大変有意義な交流となっています。

1・2年生の宿泊学習は、盛岡方面へ行きました。県立美術館、マリオス、小岩井農場で見学や体験を行いました。

3年生の修学旅行は2泊3日で実施し、歴史公園えさし藤原の郷、秋田ふるさと村、猊鼻溪、遠野方面の見学や体験を行いました。

宮古吹奏楽団との交流会では、音楽の授業時間に楽団員4名の方が来校し、一緒に楽器演奏をしたり、ダンスを踊るなどしました。

生徒会役員選挙では、立ち会い演説会を行い、しっかりと話を聞いて投票しています。中学部18名全員で頑張っております。

③ 【高等部】（高等部副学部長）

国語・数学は1～3年生まで合わせた習熟度別で学習をしております。他は各学年の集団で学習をしております。作業学習は「農耕班」「手芸班」「木工班」「陶芸班」の4班で製品の質の向上を目指して、職員も生徒も一丸となって取り組んでいるところです。

1年生の校内実習ですが、6月と10月の年2回、それぞれ3週間ずつの取り組みとなっております。働くことに特化したシンプルな活動ということで行って

おります。特に1年生はこの3週間で意識も行動も大きく変わる大事な時期となっており、働く意識を高めるために取り組んでおります。2・3年生は同じ時期に地域に出て、卒業後の進路を考えながら現場実習に取り組んでおります。現場の力は大きいと感じています。1年生で培った力をさらに成長させる大変良い機会となっております。学校では経験できないリアルな体験を学ぶという意味で、この取り組みで卒業後の進路を具体的にイメージしていく事になります。

7月に行われた「特別支援技能認定会」では、「働く力を試す」意味合いと「企業の方々に生徒の頑張る姿を見ていただく機会」と思い頑張っています。ちなみに来年度は宮古市での開催になります。

進路学習会や事業所見学会も行われています。進路について深める取り組みです。「(一社)フロムいわてソリューション ジョブシーズみやこ」「共和水産株式会社」「多機能事業所 SELPわかたけ」等で行っております。

体育的な取り組みとしましては、陸上記録会、フロアボーリング大会、トライスポーツを実施しています。トライスポーツはコロナ禍のため2年間実施されませんでした。今年度久しぶりに実施され、雨の中でしたが、生徒は頑張りました。

宿泊学習については、1年生は久慈方面。修学旅行は2年生の重複学級が実施しております。

2年生校外学習、3年生重複学級の校外学習は、宮古市内と盛岡方面に行っています。

恵風祭では、今年度も伝統的な恵風太鼓を披露することができました。ご来場の方が関係者のみということで、来年は一般公開ができればと思っていますところ。

製品販売会も、もっと多くの皆様に見ていただきたいと思っていますところ。

地域と関わるということで、昨年度は実施できませんでしたが、今年度は宮古水産高校と一緒に新巻鮭づくりに取り組みました。宮古地域の伝統的な新巻鮭づくりを体験しながら、本校の生徒だけではなく、宮古水産高校の生徒にとっても良い学びの機会になっており、宮古水産高校からもぜひ継続していきたいという話をいただいております。ただ、鮭の値段が高騰しており、この活動を継続できるかどうかは分かりませんが、交流は続けていきたいと考えているところです。鮭革細工も近隣の福祉作業所に協力いただきながら取り組みました。

農福連携は、南澤果樹園で実施しました。

奉仕活動では宮古駅、千徳公民館にプランターを届ける活動、宮古市の産業祭りへの参加にも取り組みました。産業祭りは地域活動の中で活躍する場を広げるという取り組みを発信していきたいと考えております。

進路希望状況についてお話しさせていただきます。今年度、一般就労希望3名の生徒が「株式会社エフビー」「株式会社ホンダカーズ岩手中央 U-Select 宮古」「DCM宮古南店」の方向で進めています。まだ、内定は出ておりませんが、就労を目指して生徒は頑張っています。福祉的就労として、就労継続支援A型の1名は「特定非営利活動法人イーハトーブとりもと」、就労継続支援B型に2名となっております。こちらの方もほぼ見通しがたっている状況です。生活介護の希望者は3名です。進路希望状況は以上の通りとなっております。

3年間学び、それぞれの地域に戻っていき、社会の一員として参加することを目指して取り組んでおります。

〔司会〕

ただ今説明がありました令和4年度各学部経営の総括及び進路希望状況について質問、意見等ございますか。

(なし)

(3) 令和4年度学校評価集計結果について（担当副校長）

配付資料「令和4年度学校評価」を説明

〔司会〕

ただ今説明がありました令和4年度学校評価について質問、意見等ございますか。

(なし)

3 提言（各評議員） 10:40～10:45

〔司会〕

それでは本日出席いただきました評議員の方から御提言をいただきます。

【A評議員】

今年度の具体的な取り組みとして安全の保証について御説明いただきましたが、

私たちの法人でもBCP（事業継続計画）が必須になっていまして、東日本大震災後、法人全体で取り組んでおります。先ほどの報告を聞きながら、想定を立てて、実際やってからの課題抽出、次への改善という流れができており、訓練を通しての分析に非常に良く取り組んでいらっしやると感じました。わかたけ学園や宮古カントリークラブとの合同の取り組みだったわけですが、普段は施設単独で行う訓練で視野が狭くなったり、取り組みが形骸化しがちになるところだと思いますが、わかたけ学園、若竹会にも良い刺激になるとと思いますので、お互いに今後とも継続して取り組んで行ければと思います。

【B評議員】

学校評価を見て、4、5、6のところは先生方の評価が下がっているところが見えますけれど、コロナ禍の中で先生方一生懸命頑張っているなと言うのがすごく見えます。そして、中学校、小学校との交流学习等、コロナ禍の中でもやっていただきまして、小学校、中学校の方はたいへん感謝していますので、これからも生徒のために継続していければと思っています。子ども達は交流学习をする事でかなり心が変わっていったと思いますので、この地域の地域性を有効に活用して行ければと思いますのでよろしくをお願いします。

【C評議員】

本日は有り難うございます。自分が小学校、中学校、高校を思い出しながら聞かせていただきました。率直な感想ですが、様々な体験や経験をされているのだなと感じました。コロナ禍にあって交流が結構あると感じました。コロナ禍での交流というのが難しいのではないのかなと想像しております。自分たちの対策はある程度できるかと思うのですが、交流となると相手もあるので調整が大変かと思いますが、その中で工夫されてやられていると感じました。エールという形でコロナに負けないでやっていただきたいと思っています。

【D評議員】

災害時に備えて避難訓練をしているということですが、車椅子利用の児童生徒や医ケア児について、落ち着いてスムーズに避難できるように定期的に訓練を行っていただきたいと思います。

学校交流の際に、私の子供が崎山中学校に通っているのですが、「クラスの子で

支援学校の先生になりたいと言った友達がいたよ。」と言うのを聞いて、自分の子ではないのですが、すごくうれしく思いました。そのようなめざしてくれる子が出てくるということは交流学習の良さだと思っています。同年代の生徒達と接することで、子ども達が大人になってもハードルが低くなり、身構えることなく接する大人になってほしいと思いました。これからも交流学習を続けてほしいと思いました。

〔校長より〕

本日は、様々なご意見、ご提言をいただきまして、我々の取り組みに元気をいただいたと思っております。まだ不足な部分もありますので、学校の立地条件により、今すぐに変えられないところもありますが、コロナ禍ということのを来年度以降は使わない意識で、様々な活動ができれば良いと考えています。

本日いただきました貴重なご意見等を十分参考にさせていただき、次年度につなげて参りたいと思っております。

本日は有り難うございました。

4 閉会 10:45